



◆ アレルギー支援ネットワーク 通信 ◆



NO. 56

2011.8.1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

みなさまこんにちは。

ようやく蝉の声をちらほらと耳にするようになり、夏真っ盛りの8月を迎えました。今年は梅雨が早く明けてしまった分、暑い夏が長くなりそうですね。さて、今月のメールマガジンもたくさんのお知らせ・ご案内があります。皆さまのお役に立てる情報をとスタッフ一同、頑張っておりますので、ぜひメールマガジンの情報をご活用下さい。

==== も く じ =====

- 1、「アレルギー情報見聞録」第十一回 二村昌樹先生
- 2、東日本大震災に対する支援活動のご報告
 - ①事務局での支援 事務局長 中西里映子
 - ②現地支援活動 東北事務局スタッフ 宮田浩樹
- 3、アレルギーっ子のおいしいレシピ 青木好子先生
- 4、「肌に優しいシャンプーの選び方」第四回 有限会社あんだんて 有田浩三さん
- 5、東海地域のアレルギーの会のご紹介
- 6、第6期アレルギー大学「静岡会場 中級ならびに新潟会場開催のご案内」
- 7、「主婦大生ミラクル☆リカのアレルギーっ子育児奮闘記」
- 8、「茶のしずく石鹸」商品自主回収について
- 9、ルバンシュ商品についてお知らせ
- 10、「アレルギーっ子の防災セット」のお知らせ
- 11、8月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
- 12、乳酸菌粉末食品臨床試験、ご協力者募集
- 13、新教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内
- 14、事務局の窓辺 ～新メンバーの自己紹介～
- 15、メールマガジン会員募集中！無料です。
- 16、クリック募金にご協力ください

※費用はかかりません。どうぞご協力お願いします。

<http://alle-net.bokinbako.org/0002/?pg=1>

=====

1、「アレルギー情報見聞録」 第十一回 二村昌樹先生

「夏の暑さ対策」

この時期になると「今年は去年よりも暑いですね」があいさつ言葉になります。今年は節電対策として、多くの施設でクーラーの設定温度が例年よりも高めにされているため暑さをさらに感じていることと思います。私も先日のなでしこジャパンの活躍も生放送で見ている、もっとも気温が低い時間帯にも関わらず自宅でクーラーをつけずにテレビを見ていたら汗だくになっていました。

この季節、アトピー性皮膚炎のお子さんは注意が必要になってきます。冬の乾燥で湿疹が悪くなるお子さんもいますが、夏も悪化する時期だからです。今回は夏の対策について主なものを書かせていただきます。

まずは汗の対策です。暑い日にはたくさん汗をかきますが、汗には体内からのさまざまな老廃物が含まれています。これらが刺激となって湿疹を悪化させます。汗をかくこと自体は体温調節や皮膚のバリア機能の一つとしても重要な体の働きですが、汗をかいたままにしておくことと皮膚にはあまりよくありません。アトピー性皮膚炎のないお子さんでも汗疹（あせも）などの皮膚トラブルの原因となります。

汗をかいたあとはシャワーをお勧めします。毎日のスキンケアと同じように毎回石けんで洗う必要はありません。ぬるめのお湯ですっきり流すだけ汗は流れてしまいます。

外出などでシャワーができない時はタオルで（ゴシゴシしないで）汗をふき取るようにしましょう。湿疹が悪化してしまったり汗疹ができたところは、石けんをつかった日常のスキンケアの時に、特に入念に洗ったり薬を塗ったりするようにして早めに治すようにしてください。

つぎに日焼け対策です。昔と比べて好んで日焼けをされる方は少なくなりましたが、アトピー性皮膚炎に限らず日焼けは皮膚にとって良いことではないことを意識して下さい。日焼けは皮膚にとって一種の「やけど」です。湿疹の悪化だけでなく、シミの原因になったり、皮膚がんの危険性が増すなど良いことはありません。

日焼けの対策は直射日光をさけることです。外出時はできるだけ日陰で過ごしたり、日差しの強い時間の外出を避けるのも有効な対策です。日傘やつばのついた帽子、肌を露出しない服を身につけたり、日焼け止めクリームを塗ったりするのも効果的です。日焼け止めクリームについてはいろいろな商品が販売されていますが、いずれを使う場合でも自分の肌の一部で試してから使用されることをお勧めします。「アレルギーテスト済み」といっても自分の肌ではアレルギー反応やかぶれが起こらないとは限りません。

この他にもアトピー性皮膚炎に限らず、熱中症、脱水症にならないようにこ

まめに水分摂取をしたりすることもこの季節はお忘れなく(^_^;)。

2、東日本大震災に対する支援活動のご報告

① 事務局での支援 — 7月災害支援活動報告 — 事務局長 中西里映子

発災から4ヵ月が経ちましたが、今回の未曾有の災害から復興・復旧するには、まだまだ多くの課題と時間が必要なようです。そして、今もまだ、私たちのもとには多くの被災者の方から、様々な声が聞こえてきます。

まず、6月から本格始動した東北事務局による岩手県下の被災者フォローアップ活動から、緊急時に支援を実施した大半の方は仮設住宅で何とか安定した生活を送れている様子が報告されました。これには事務局一同、本当に嬉しく安心しました。しかし、安堵するのもつかの間、新たな支援要請の相談電話が入ってきます。7月になって特に顕著なのが、疎開先・一時避難先からの相談電話です。

大阪や東京、新潟まで辿りついた方々からは、アレルギー食品店や医療機関などの紹介依頼でした。新たな土地で生活を始めるため、家具・家電など物資的な支援は疎開先の自治体や日赤などが行っていますが、さすがにアレルギーに関する支援は困難なようで、寝具や生活全般に関するご相談も多くなりました。

他にも、福島県内でも避難先の移動を余儀なく転々としている方や新潟の一時避難プロジェクトなどで避難中（7月下旬には新たな二次的避難先に移らなければならない）の方々などから相談を受けました。

同時に数は減ったものの、宮城県内からはラジオやテレビの放送で、岩手県からは避難所のポスターを見た方などからもアレルギー相談の連絡が入っています。

今後は、引き続きアレルギーでお困りの方のご相談に応じつつ、「アレルギーっ子の防災セット」を普及する活動を行っていきます。

② 7月 現地支援活動 東北事務局スタッフ 宮田浩樹

7月に入り、東北事務所のある大船渡市もずいぶん暑くなってきました。事務所にはエアコンが無く、午後からは建物自体が熱を帯びてサウナのようなのです。

しかし名古屋とは違い、朝晩はヒンヤリ涼しい風が吹いてくるので心地よいですね。

最先端に行く（？）エコな事務所です。

さて、6月までに保育園や幼稚園、小学校を回ってニーズ調査、物資支援などを行っていましたが、現在は地元で活動している子育てサークル、小児科医などを訪ね、アレルギー支援ネットワークの活動の目的などを説明し、緊急連絡カード&緊急時安否確認システムのチラシを配布しています。

今後、安否確認システムが役立つツールになると嬉しいですね。

7月12日には、遠野市で開催された「遠野まごころねっと構成員会議」に出席しました。

70名ぐらいの参加でしたが、いろいろな団体の方とお話できるのは数少ない機会ですので、今後も上手く情報を頂いて、1人でも多くのアレルギー要支援者に行き着くような方法を考えていきたいと思っています。

3、アレルギーっ子のおいしいレシピ

「なすと油あげ煮」

青木 好子先生

なすがおいしい季節になりました。

なすは和食にも洋食にも活躍しますね。夏場はとくに甘味が増すので、シンプルな調理がおすすめです。今回のレシピはしょうがを使って、夏にもさっぱりと食べられます。

しっかり食べて夏バテに負けない体を作りましょう！

レシピはこちらから

4、「肌に優しいシャンプーの選び方」第四回

有限会社 あんだんて 有田浩三さん

先月は、「シャンプーをとりまく環境の変化」として生活習慣や配合技術、情報など世の中が大きく変わっていることを書きました。今回は、「界面活性剤の変遷」です。

1950年代後半から各種のアニオン(陰イオン)界面活性剤が開発され、さらに1970年代では両性(両イオン)界面活性剤という全く新しいタイプの界面活性剤が開発されるなど界面活性剤は大きく変遷しています。これらの組み合わせなども含めると配合技術は飛躍的に進歩しています。それだけ選択肢も増えました。

(イオンの形による界面活性剤の分類と特徴は6月号をご覧ください。)

★★アニオン(陰イオン)界面活性剤★★ (シャンプーの主剤に使用されません)

「石けん系界面活性剤」→「高級アルコール系界面活性剤」→「アミノ酸系界面活性剤」という大きな流れがあり、使用感の向上、低刺激性化が図られています。

いずれも天然油を出発原料とし、このなかの高級脂肪酸を活かして目的の界面活性剤としています。(後述の両性界面活性剤でも同じです。)高級アルコールを直接化学合成することもありましたが、今日の天然志向から化粧品では使用されていません。

★石けん系界面活性剤

石けんは、最も歴史の古い界面活性剤で日本では江戸時代から使用されてい

ます。

成分的にみると高級脂肪酸を苛性ソーダで中和して作った界面活性剤です。製法としては天然油を直接苛性ソーダで中和することもあります。石けんは、高級脂肪酸の活用法としては製造工程がもっとも簡単なので低コストの魅力があります。

【化学名】：高級脂肪酸塩 【表示名称】：石けん素地 液状シャンプーに使用する場合は、苛性ソーダに換えて苛性カリで中和するので「カリ石けん素地」と表示します。使用感向上と低刺激化のためにアミノ酸で中和した「アミノ酸石けんシャンプー」もあります。この場合は、カリ石けん素地と使用したアミノ酸（例えば、ヤシ脂肪酸アルギニン）を併記します。

★高級アルコール系界面活性剤 その1 AS 1950年代後半～

高級脂肪酸を高級アルコールにした後に硫酸と反応させて洗浄力を強めています。

【化学名】：アルキル硫酸塩でASと略記。 【表示名称】：ラウリル硫酸Naなど。石けんの欠点（石けんカスでギスギスする）を克服した画期的なものでしたが、下記AESなど、より低刺激な素材が開発された現在ではシャンプーにはほとんど使用されません。

高級アルコール系界面活性剤が敬遠されることがありますが、この名残でしょう。

★高級アルコール系界面活性剤 その2 AES 1960年代後半～

ASにエチレンオキサイド(EO)を付加して高分子化することで肌への浸透力を弱めて低刺激化したものです。80～90%のシャンプーに使用されている代表的界面活性剤です。

【化学名】：ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸塩でAESと略記。

【表示名称】：ラウレス-5硫酸Naなどで 数字の5は付加したEOの数を示しています。

★アミノ酸系界面活性剤

【化学名】：アシル化アミノ酸塩 【表示名称】ラウロイルグルタミン酸Na

高級脂肪酸にアミノ酸を反応させて作ります。石けんにアミノ酸を付加したような化学構造を持つので使用感、低刺激性向上の両面でAESより大きく進化しました。

何故アトピー性皮膚炎に向いているのかは、10月号 「選定に関するキーワード：低刺激性」で詳しく書く予定です。

★★両性(両イオン)界面活性剤★★の登場 (タイプにより登場年代が変わります。)

洗浄力のあるアニオン(陰イオン)界面活性剤とコンディショニング効果のあるカチオン界面活性剤の機能を併せ持った両性(両イオン)界面活性剤が開発

されました。

アミドアミン型 1970年代後半から、アミドプロピルベタイン 1980年代後半からアニオン(陰イオン)界面活性剤と併用することによりシャンプーの使用感が一層向上し低刺激性となります。

この資料で書いた各種界面活性剤が出始めた時期は、日本化粧品技術者会編「化粧品の有用性」(薬事日報社)に載っている「図5-1 シャンプー・リンシンシャンプーにおける界面活性剤、添加剤の変遷」のうち界面活性剤の部分から引用させていただきました。【化学名】と書いた部分はグループの総称です。

なお、シャンプーの形態の変遷の面で見ると液状シャンプーが流行りだしたのは1960年代中頃といわれます。

5、東海地域のアレルギーの会のご紹介－豊橋の会

はじめまして。豊橋アレルギーっ子の会の平田と申します。

豊橋アレルギーっ子の会は、東日本大震災後に立ち上がった新しい会です。なぜ、私が豊橋で会を立ち上げようと思ったかを少しお話したいと思います。私には、2歳半の食物アレルギーの子がいます。子供がアレルギーとわかってから、アレルギーについてわからないことや心配なことは、病院受診した時に質問したり、パソコンで調べたりしていました。それで、気になる事はあっても生活は出来ていましたので、どこかの会に入ろうとは、あまり思っていませんでした。しかし、東日本大震災が起きて気持ちが変わりました。この地域で大震災が起こったら、家の備蓄だけではこの子の食べられる物がなくなってしまうかもしれない…。どこかの会に所属して、この子の存在を知らせておかなければ、大変なことになるかも…と思いました。そして、アレルギー支援ネットワークに電話したのが、始まりでした。電話口で会の事を問い合わせしたところ「豊橋には、会がないから立ち上げませんか？サポートしますから。」と言われ、自分が立ち上げるとは思ってもいなかったのに、びっくりしました。そして、少し考えました。豊橋にもアレルギーの子はいるだろう。その親子さん達は、みんなどうしているのだろうか…。震災時のことも心配だし、病院選びや治療の事など、パソコンなどの情報も大切だけど、お母さんたちの生の声の情報交換や悩み事を相談できる場所が身近にあったほうがいいのではないだろうか、と思いました。そして、少しでもアレルギーの子を持つ親子さんの力になればと思い会を立ち上げる決心がつけました。

このような、気持ちで出来たスタートしたばかりの会ですが、皆さんと一緒に楽しい会が築けていけたらいいなと思っております。

今後の予定は、

毎月第3木曜日10時～12時(8月18日、9月15日、10月20日)

豊橋総合福祉センター（あいトピア）

で予定しております。

近隣市町村の方々のご参加も可能ですので、アレルギーの子をお持ちの親子さんのご参加をお待ちしております。

6、第6期アレルギー大学「静岡会場 中級ならびに新潟会場開催のご案内」
丹羽つきえ

7月号でご案内させていただきました、アレルギー大学 中級講座は、静岡会場でも開催いたします。

初日は 医学-Ⅱ 8/21（日）午前 静岡県総合福社会館 です。

なお、栄養管理調理コース中級・保育養護コース上級修了の必須となっております特別講座も開催いたしますので、ぜひご受講ください。

特別講座 「アレルギー表示と医学」10/2（日）午前 静岡県総合福社会館
講師 伊藤 浩明 先生

全講座お席に余裕がございますのでパソコン、携帯でアレルギー大学 お申込専用フォームよりお早めにお申込ください。

また、今年度は新潟市にてアレルギー大学を開催する運びとなりました。

特別講座 「子どものこころとからだ」10/22（土）をかわきりに、12/10（土）まで基礎・初級、一部特別講座を開催いたします。新潟アレルギー大学は新潟県立大学と共催で、新潟の第一線でご活躍の先生方をお迎えし、アレルギーの基礎について詳しく丁寧にお話しいただきます。

新潟市近隣にお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひお声をかけていただきますよう、お願い致します。

7、「主婦大生ミラクル☆リカのアレルギーっ子育児奮闘記」

管理栄養士 寺倉里架

中学3年生の食物アレルギー児のママであり、2009年の4月から大学院に通う主婦大生？こと寺倉 里架と申します。

現在、娘は卵（卵黄の固ゆでは少量食べられるようになりました）、乳のアレルギーがありますが日々笑顔もモットーに過ごしております。

本日のテーマは

「食物アレルギー児ママの焦り」

先日あるママからこんなお話をお聞きしました。

「他の子がどんどん食べられようになると、なんかうちの子は大丈夫かなと不安になってしまい・・・」

私、この気持ちすごくわかります！！！！

同じ病院に通っていたお子さんが食べられようになっていたり、ママの会にいた仲間が卒業していたりすると我が家はいつ？我が家は大丈夫？と不安が倍増していました。

でも、あせってもしょうがないんだよね。
不安に思ってもしょうがないんだよね。

人に個性があるように、食べられるようになる時期もヒトの個性なんだよね。

ただ、今は負荷試験などで食べられる量もわかるようになってきているので、こうした医学的観点もしっかりとらえ、対応していき焦らず個性を大事にかなあと思いつつ、ママのお話を聞いていました。

8、「茶のしずく石鹼」の商品自主回収について

「茶のしずく石鹼」についてご存知の方もいらっしゃると思いますが、厚生労働省は5月20日、小麦成分を含む「茶のしずく石鹼」の使用者が、運動後にアレルギー症状を起こしたとの報告が相次いだと発表し、製造販売元の悠香（福岡県）とフェニックス（奈良県）は自主回収を行っています。同省によると昨年10月以降、計67人がじんましんや息苦しさなどの症状を起こしたと報告をしています。いずれも軽症ですが、ショック状態になり救急車で運ばれた例もあったようです。

これは、小麦を加水分解した成分を含有した製品の使用者において、小麦含有食品を摂取してその後運動した際に全身性アレルギー（運動誘発性アレルギー）を発症したとみられています。

昨年12月以降、「茶のしずく石鹼」（新製品）は小麦加水分解物を含有していない製品に切り替えられていますが、現在も「茶のしずく石鹼」について、全国の消費生活センターに計640件の相談が寄せられたと国民生活センターが発表しています。

国民生活センター（7月14日発表）

http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20110714_1.pdf

皆さまのお手元に該当製品がないかご確認ください。

回収ロットのご確認はこちらから（厚生労働省HP）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001cv6i.html>

9、ルバンジュ商品についてお知らせ

アレルギー支援ネットワークでは、株式会社ルバンシュの製品の販売を行っております。

放射性セシウム汚染牛をはじめ食品の放射能汚染が心配される中、株式会社ルバンシュでは、全製品について、製造する毎に放射線量の測定を行う事を決定されました。

検査項目は、厚生労働省発行の「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」を参考に、セシウム 137 を測定し、不検出のみを合格基準としています。また、現在在庫している商品についても、震災以降に仕入れた原料を使用した商品はすでに検査を実施し、放射線が検出しないことを確認済みとなっています。

放射線量測定については、皆さまの不安が解消されるまで検査を続けていくことをお約束されていますので今後も安心してルバンシュ製品をお使い下さい。

----- 10、「アレルギーっ子の防災セット」のお知らせ -----

アレルギー支援ネットワークは阪神淡路大震災や新潟中越沖地震、そして現在も支援活動中の東日本大震災を通じ直面した課題克服と今後の災害発生に向けて、新たに「アレルギーっ子の防災セット」の普及活動をスタートさせました。

私どもが災害支援活動を行う中での最大の問題は、“アレルギー対応物資がアレルギー患者に届かない”ことです。アレルギー患者はそれぞれのアレルゲンを配慮したきめこまやかな対応が必要になりますが、避難所などは大衆向けの不特定多数を想定した支援物資が主になり、その上パニック状態の緊急時には少人数に対応する余裕も配慮も欠如してしまうのが実態です。

今までもアレルギー支援ネットワークは防災活動として、緊急時に保護者不在でもアレルギーについて周囲の人に知ってもらう「緊急連絡カード」、患者の安否確認と救援受付窓口の「安否確認システム」の普及を積極的に取り組んできましたが、今後は緊急事態により迅速かつ的確にアレルギー支援活動を行うため、「登録シリコンバンド」を作成いたしました。そして、これら3点を合わせ「アレルギーっ子の防災セット」として新たな取り組みを普及していきます。

「登録シリコンバンド」には安否確認システムにリンクする登録番号が印字されており、緊急時にこのシリコンバンドを身に付けていることで安否確認の際に事前に登録したアレルゲンや症状などを確認し、必要な支援物資をお渡しすることが出来るのです。

また、避難所などでは患者が個別に要望をあげてもなかなか通らなかったり、一人だけだと要望自体が言えなかったりしているもの現実ですが、実は同じ

避難所や地区にアレルギー患者がいて共に要望をあげることで解決される問題もあります。また、安否確認登録とシリコンバンドで相互扶助への橋渡しも可能になります。

この「安否確認システム」・「登録シリコンバンド」・「緊急連絡カード」の3点が一緒になった画期的な「アレルギーっ子の防災セット」は、公益事業として助成金で費用を補っているため、先着1万名の方に無償サービス提供が可能になりました。

お申込みはアレルギー支援ネットワークのHPから「安否確認システム」に登録することで、1患者につき「登録番号入りシリコンバンド1本」と「緊急連絡カード3枚」が郵送されます。登録対象者は、アレルギー患者本人または保護者の方で、アレルギー支援ネットワークや各患者会などの会員以外の方もOKで、一切費用はかかりません。

また、すでに既存の安否確認システムに登録済みの方には必要かどうかの確認をした上で順次、登録番号を発行しシリコンバンドを送付いたします。これを機会に、ご自身の防災対策を見直してはいかがでしょうか？

11、8月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーを持っているお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、私たちと一緒にお話をしませんか？

アレルギー児の親交流会が10ヶ所になりました。

どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合せも多く、名東区など、ご要望の多い地域での会の設立準備も始めております。是非、ご参加下さい。お待ちしております。

8月は

2日(火) 西尾アレルギーの会 アレっ子元気 総合福祉センター 4階
和室 洗心庵

3日(水) 日進アレルギーの会 日進市北部福祉会館

4日(木) 天白アレルギーの会 天白区社会福祉協議会

4日(木) 守山アレルギーの会 守山区社会福祉協議会 研修室

12日(金) アレルギー支援ネットワーク アレルギー支援ネットワーク
事務所

18日(木) 豊橋アレルギーの会 豊橋市総合福祉センター「あいトピア」

19日(金) 緑アレルギーの会 緑区保健所 健康増進室

25日(木) あま市アレルギーの会 甚目寺公民館 和風会議室2

名古屋南部アレルギーの会、刈谷アレルギー児の親の会は、休みです。

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

お申込は電話 052-485-5208 URL<http://www.alle-net.com/>

皆様のご参加をお待ちしております。

12、乳酸菌粉末食品臨床試験、ご協力者募集

現在、アレルギー支援ネットワークでは、市販されている乳酸菌粉末食品がお子様のアトピー性皮膚炎にもたらす効果を検討する、臨床試験の参加者を募集しています。

乳酸菌にはおなかの調子を整える働きがありますが、最近の研究でアトピー性皮膚炎や花粉症の予防や治療にも補足的な効果がある事が報告されています。

興味を持たれた方・応募についてのお問い合わせは

認定NPOアレルギー支援ネットワーク 事務局長 中西里映子

TEL: 052-485-5208 Email: info@alle-net.co.jp

までお願いします。

13、新教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内

皆さまは、アレルギーについてどのようにして情報を得たり、勉強をしていますか。

アレルギー支援ネットワークでは、「よくわかるやさしく作れる アレルギー対応給食」の教本を改訂して、2011年5月に「食物アレルギーの基礎と対応」の教本を作成しました。

本書は、宇理須先生監修の元、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍されていた先生等専門の方々に執筆・編集協力をしていただいております。

アレルギー大学を受講されている皆さまはもちろん、アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆さまにぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

14、事務局の窓辺 ～新メンバーの自己紹介～

メールマガジンを購読の皆さま初めまして。中嶋麻美と申します。

5月末にアレルギー支援ネットワーク事務局の仲間入りをしました。現在は

アレルギー対応商品共同購入と会計業務を担当しています。
今年の4月に関西から名古屋へ引越しをしてきました。関西との違いに驚いたり戸惑いながらも、ようやく名古屋の生活に慣れてきたところです。
アレルギーに関する知識はあまり持っていませんが、私自身ハウスダストや花粉症に悩んでいますので、皆さまのお力を借りながら、様々なアレルギーについてこれから学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

15、メールマガジン会員募集中！無料です。

アレルギー最新情報や地域の会の情報など、「アレルギー」に関する情報満載の「アレルギー支援ネットワーク・メールマガジン」。ただいまご購読会員募集中。ご購読は無料です。みなさんの周りの方にも、ぜひご登録をおすすめください。また「こんなことを取り上げてほしい」「知りたい情報がある」などメールマガジンで取り上げる記事についてのご要望もお待ちしています。あなたの声で、アレルギー対策が一步前進するかもしれません！
info@alle-net.comまでお気軽にどうぞ。

16、クリック募金にご協力ください

アレルギー支援ネットワーク「募金箱」へのご協力をありがとうございます。募金箱とは皆様がインターネット上から簡単に募金ができるサイトです。ご協賛スポンサー様のバナーをクリックしたり、ご協賛スポンサーサイト様でお買い物をしていただくだけで私達の活動を支援するための募金、寄付ができる仕組みです。ひきつづき皆様のご協力のご支援、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。下記サイトからお願いします。

<http://alle-net.bokinbako.org/0002/?pg=1>

※認定NPO法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※
「giveone」

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

「東海ろうきんNPO寄付システム」

<http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html> を通じても寄付をお願いしております。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所までお問い合わせください。

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは
asn-mailmagazine@alle-net.com(メルマガ編集部)までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。
(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けす

る場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部 asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆★☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでもOKです。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0021 愛知県名古屋市中村区松原町 1-24 COMBi 本陣 S103

▽TEL : 052-485-5208

▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----◆☆